

たんぽぽ うしん

第30号

〔編集人〕社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL：011-792-3969 / FAX：011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
〔発行人〕北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕2015年3月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕20円



20年という節目の年に…

あいのさとアクティビティセンター 施設長 井内 秀典

昨年9月に着工した「あいのさとアクティビティセンター改築工事」は、この地区特有の過酷な冬を何とか乗り切り、予定通り3月31日に竣工を迎える事となりました。4月1日からは、晴れて新生アクティビティセンターの運営開始となります。

ここまで来るにはなかなか茨の道で、苦難の連続でした。2013年に「あいのさとアクティビティセンター改築工事」を宮野常務理事に突然言い渡され、個人的な動揺も許されないまま、この工事に係るあらゆる手続き申請に奔走した記憶が強く残っています。農地法下における農地購入の問題や、札幌市宅地課との建築基準法における問題、道路の問題及び、札幌市障がい福祉課との短期入所併設における問題、さらに既存施設を利用した新事業所立ち上げの問題など様々な難題と向き合い関わり、今ようやくその結果が形になって現れようとしている事に、大きな喜びを感じております。

また、今回の改築で重症心身の方が通われる「たくあい療育センターエルドラード」があいのさとアクティビティセンターと統合となり、さらに短期入所機能を備え活動する環境が整えられました。また、既存のあいのさとアクティビティセンターの建物を使い、以前から



工事用の囲いも取り外され
完成まであとわずかの建屋

構想のあった「あいのさとワークセンター」(園芸を主体とする就労施設)を設置する事には、今後の大いなる発展が期待できるでしょう。

1995年に「これまでの日本にない考え方の施設を」との思いから、「利用者の自己決定を尊重する」という北欧型の支援を目指し、「あいのさとアクティビティセンター」を開所したと聞きました。翌1996年には、フィンランドのカーリシルタ・アクティビティセンターと姉妹施設の提携を行うなど、より北欧との交流を深め「ノーマライゼーション」「ジェントルティーチング」を理念の根幹に位置づけ、今日までこの拓北・あいの里地区で発展してきました。

今年は「あいのさとアクティビティセンター」が開所して20年です。この節目に今一度起点に立ち返り、現施設長として先人の福祉に掛ける思いを見失わないように、歩むべき方向を見定めたいと感じるこの頃です。

行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

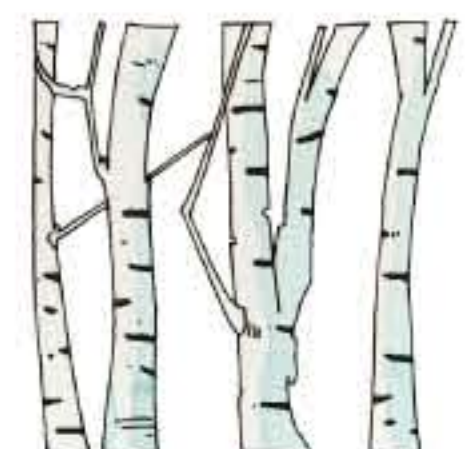
■3月8日(日)10:00～ 室内雪合戦 場所：拓北・あいの里地区センター

《札幌協働福祉会の行事予定》

■3月22日(日)

◎法人研修会 場所：拓北・あいの里地区センター

◎歓送迎会 場所：ガトーキングダム



ヘルパーステーションたんぽぽが開設しました!

ヘルパーステーションたんぽぽ 施設長代理 工藤 博

平成 27 年 1 月 1 日から当法人で最初の介護保険事業である訪問介護がスタートしました。事業所名称は「ヘルパーステーションたんぽぽ」です。在宅の障がい児・者への支援をしている「たくあい療育センターピッコロ」が一緒になり、管理者(宮野常務理事)・顧問を含め総勢 15 名のスタッフ体制となります。

訪問介護は、要支援・要介護に認定された方々のうち、調理や掃除などの生活援助、入浴や排せつなどの身体介護の必要性がある方のご自宅にホームヘルパーが訪問し、サービスを提供する事業です。

いわゆる介護保険での訪問系サービスの一つで、住み慣れた我が家での生活を希望する高齢者等への重要なサービスの担い手といえます。

また、高齢者介護の相談事業もおこないます。身近な方で介護保険の手続きや介護サービスなどで不明な点は遠慮なくご相談下さい。

今年、10 月には地区センター隣の敷地に「拓北あいの里福祉センター(仮称)」の建設が予定され、1 階には小規模多機能型居宅介護事業所等、2 階に住宅型有料老人ホーム(定員 25 名)など、様々な地域ニーズに対応できる機能を備えていく予定です。

辰田理事長からは、今後の当法人の「高齢者、障がい児・者の在宅支援の中核」としての期待に答えていくべく、スタッフ一同、皆様のご期待に答えていけるようチーム一丸となって努力していきたいと思っております。ご理解・ご指導をよろしくお願いいたします。

高齢者介護全般の相談に応じます。
右記までお問合せください。

- 住 所 札幌市北区あいの里4条5丁目9-1
- 担 当 者 施設長代理:工藤
- 連 絡 先 TEL 011-778-3434

新人職員紹介

～ 2014 年度 その⑦ ～

くどう ひろし
ヘルパーステーションたんぽぽ 工藤 博



昨年 12 月からお世話になっております工藤と申します。ヘルパーステーションたんぽぽで仕事をさせて頂いておりますが、今までの福祉の経験を生かして法人の力になりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

くわはら りか
ヘルパーステーションたんぽぽ 桑原 里佳



12 月に入社いたしました。本部とたんぽぽに所属しています。福祉のお仕事は未経験ですが、周りの方々の知識や経験を吸収し、学んでいきたいと思っております。皆様のお役にたてるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2/5(木)～11(水)

雪まつり見学

2月5日から11日まで札幌市東区の「つどーむ」で雪まつりが開催され、各事業所では雪像見学やチューブ滑りを楽しみました。



会場内で記念撮影



屋内会場でひと休み

あくていぶ



チューブ滑りに歓声

少し寒いけど会場内を回る皆さん



帰りのバスでも興奮がおさまらない



おいしいものいっぱい食べたヨ

高岡アクティビティーセンター



これからチューブ滑りします!



大好きなドラえもんをバックに記念撮影



仲よし3人組



つどーむ内でご当地グルメ

ウレシパ・ポエム



チューブスライダー



氷の滑り台



入口にて全体写真

2015年
1月~2月

イベント報告コーナー

1/31 (土)

札幌協働福祉会 ニューイヤーパーティー2015



オープニングはよさこいの力強い演舞

1月31日、札幌協働福祉会は「拓北・あいの里地区センター」を会場にニューイヤーパーティーを開催しました。今年も大勢の来場者で賑わい、よさこいや演劇、阿波踊りなどを楽しみました。



新作劇を発表するアクターのメンバー



ピアノとハーモニカの音楽ライブ



気合いを込めてベッタン!



今年成人を迎えた皆さんへ花束と記念品贈呈



リズムカルなダンスを披露するパラパラのメンバー



ユーザーさんと一緒に阿波踊りで練り歩く



楽しいパーティーの最後のプログラムは「お楽しみ抽選会」

おなじみ五郎連の皆さんが阿波踊りを披露



2/18 (水) ~ 21 (土)

沖縄・宮古島旅行

札幌協働福祉会では、2月18日から21日の日程で沖縄・宮古島旅行に行ってきました。今回は総勢35名の参加があり、コバルトブルーの海に浮かぶ南国アイランドを巡る企画。参加された皆さんは、氷点下の銀世界から一足飛びに南国の春を体感しました。



宮古島空港に到着



来間くりま島にてII後方・来間大橋



羽田空港到着、「みなさん、こんごうです」とスタッフの遠藤さん



羽田発那覇行きJAL機内で



琉球泡盛の多良川(たらがわ)工場を見学



白い砂浜が続く前浜ビーチ



宮古島のホテルでの夕食



絶景ポイントの東平安名岬(ひがしへんなざき)で記念写真



平安名岬(へんなざき)灯台を見学



宮古神社を参拝

インタビュー 8

拓北・あいの里連合町内会相談役
(2代目会長)

山田 太郎氏(80歳)

山田さんは、福島の子どもたちの保養キャンプ「おもいっきり夏休み」自然体験学校の校長先生



拓北・あいの里連合町内会の会長(2代目)を8年勤められた、「リーダーシップのある名会長」といわれた。若い頃から文学活動に参加・主宰し、小説や詩を発表してきた。平成20年には札幌市自治振興功労者表彰を受賞。

拓北・あいの里を「文化芸術の街」に

▼本紙「たんぼぼうしん」の命名も題字の筆も山田さんですね。

山田 春になると、あいの里のあちこちに点在する空き地にタンポポが一面に咲きます。「タンポポ畑は ないけれど タンポポ いっぱい 咲いている」という詩を書きました。札幌協働福祉会前理事長の森さんが曲をつけてくださり、イベントのときはユーザーさんが独唱してくださった。綿毛となって広い空を飛んでいき、舞い降りたところで仲良く芽を吹く、そんな思いをうたいました。

▼連合町内会会長時代に「人と自然が会話するやさしさ響き合う街 拓北・あいの里」というまちづくりの理念を掲げられましたね。

山田 豊かな自然を大事にし、人にも自然にもやさしいまちづくりをすすめたいという思いからで

す。平成14年から会長を務めたのですが、この町は古いしがらみがないので、新しいものをつくりやすかったですね。自由に羽ばたきたいという私の天性の気持ちにも合っていました。

▼障がいを持った方たちへの地域の理解を広げていくことにも大きな力を発揮されました。

山田 地域の中で障がい者とともに生きるという福祉会の理念と実際の活動に共鳴し、地域の人たちと一緒に手伝いさせてもらってきました。「やさしさ響き合う街」に近づいてきていると思います。

▼今年の抱負を。

山田 拓北・あいの里を「文化芸術の街」にしていきたいですね。今年は未(ひつじ)年。未来に向けて、共に希望のもてる年にしたいと思っています。

『NHK ギャラリー展 無事終了いたしました』

1月23日～29日の1週間、NHK ギャラリー展が開催されました。

21作品を展示した今回の作品展。なんと416名のお客様にご来場頂きました。

テレビ、新聞等の報道で今回の展覧会情報をご覧になった方が非常に多かったようです。

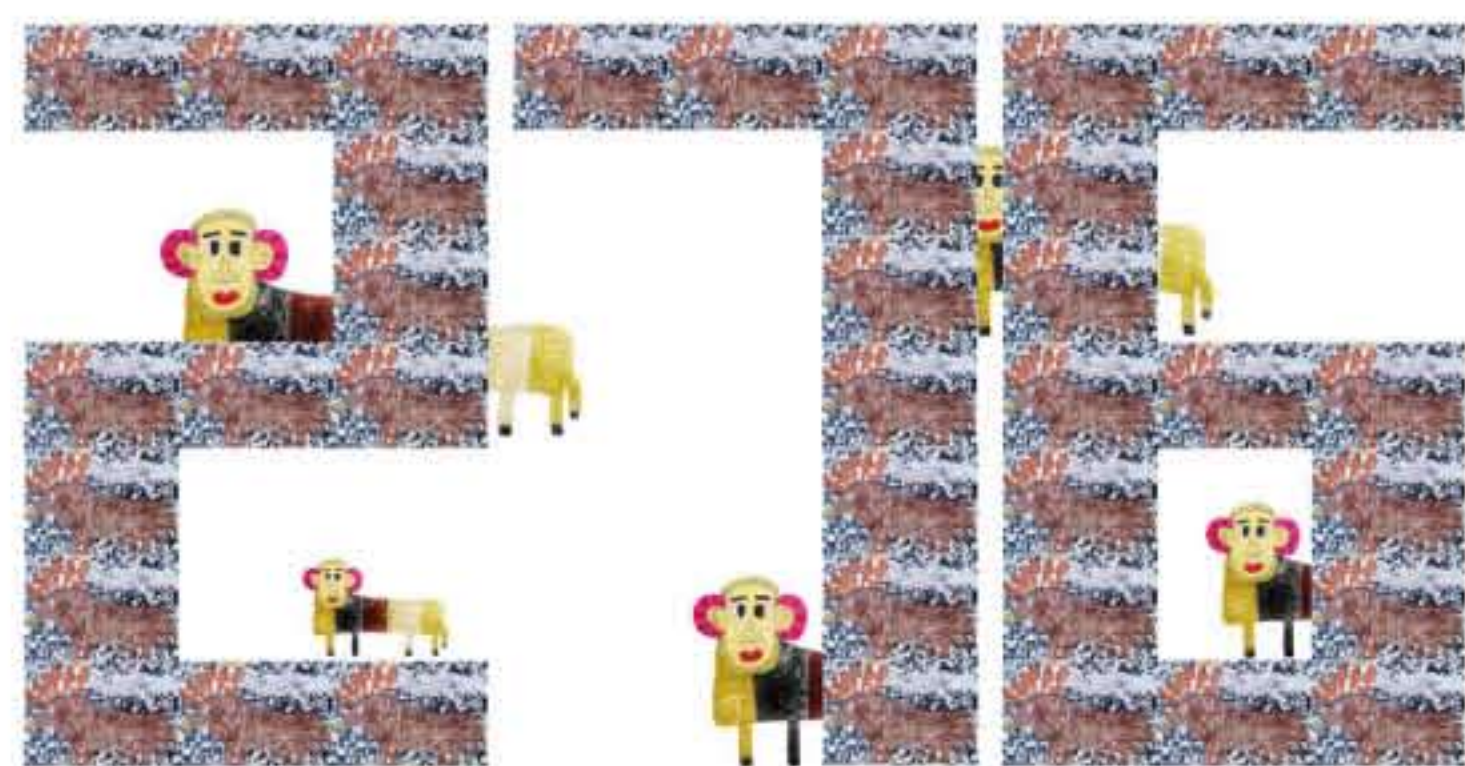
たくさんのお褒めの言葉を頂き、私たちにとても大きな励みとなりました。

3月20日までは、札幌を飛び出して「道の駅フォーレスト276大滝」で展覧会開催中です。

レジャー等、お出掛けの際はぜひお立ち寄りください。



道の駅フォーレスト276大滝 × アートセンターあいのさと アールブリュット作品展



■日時/平成27年2月3日(火)～3月20日(金) 9時～18時

■入館料/無料

■会場/道の駅フォーレスト276大滝

北海道伊達市大滝区三階滝町637-5
TEL:0142-68-6041

■問合せ/アートセンターあいのさと TEL 011-299-3458

地域行事の紹介

第5回 あいの雪まつり

2月14日(土)、第5回 あいの雪まつりが拓北・あいの里地区センターで開催されました。地区センター、北海道沖繩クラブ、札幌協働福祉会が協力し親子の雪だるまを作りました。札幌協働福祉会は20人以上のユーザーが参加してお母さん雪だるまを作りました。粉雪舞う悪天候でしたが、来場者には豚汁、味噌おでん、シークワサーのホットジュースなどが無料で提供され、寒い中、なによりのごちそうでした。夜には雪像のライトアップ。雪山にはキャンドルライトが灯され、楽しみいっぱいの雪まつりでした。



事業所紹介コーナー ⑧

ドリームセンターあいあい

【障がい福祉サービス事業】

就労継続支援B型 20名

2011年9月開設

札幌市北区あいの里1条3丁目5-17

TEL 011-374-7282/FAX 011-374-7283



ドリームセンターあいあいは、あいの里1条4丁目の住宅街の真ん中に2011年9月開設しました。開設当初は、生活介護と就労継続支援B型の多機能事業所として活動していましたが、就労継続支援のニーズが高くなったことを理由に、2012年4月1日より、就労継続支援B型に特化した形で活動を進めています。

20名のユーザーとその方たちを支えるスタッフが一つの家族となり、試行錯誤しながら、現在のドリームセンターあいあいの形が出来上がりました。

ユーザーの得意な部分を活かしながら清掃作業、請負作業、授産製品の制作を行い、成功体験を積むことによって、自信につながり、意欲につながっていきばいいなと思っています。

ユーザーもスタッフも、毎日笑って過ごせる事業所を目指し、今後も活動していきたいと思っています。

【文・ドリームセンターあいあい 田中 美千代】



除雪作業に参加



当別・高岡アクティビティーセンター 当別町内の除雪ボランティア

活動の一環として、今年も当別町社会福祉協議会の呼びかけで、福祉除雪ボランティアに参加しました。

2月3日(火)、この日は朝から晴天にも恵まれ、お年寄りの住宅の玄関前や窓が雪で覆われているところなど3軒の除雪を皆さん汗だくで行っていました。

高岡アクティビティーセンターからはユーザー6名、スタッフ2名と社協、地元の人たちと行い、除雪をした家のお年寄りから「きれいにして



屋根からの落雪でふさがってしまった窓や玄関周りを除雪

頂きありがとうございます…感謝します」とのお言葉を頂きました。

また、ユーザーさんからは「とても疲れましたがいい勉強になり、来年も参加したいです」、「福祉除雪をして疲れたけど、楽しかったです。僕の地元なのでまた行きたいです。本当にお疲れ様です」などのコメントがありました。

学園通り あくていぶ 周辺の除雪を行いました

2月4日(水)、あくていぶ園芸班は皆さんが通所時にいつも利用する歩道橋の降り口付近を除雪。人が行き交える様に歩道を広げました。これで利用する人が多い朝と夕方の時間帯でもスムーズな人の流れが維持できそうです。



あくていぶ園芸班のみなさんによる歩道橋の除雪作業

山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設“山の家きょうどう”からの通信を掲載します

▼りんごと余市 明治12年、日本で初めてりんご栽培に成功した余市。大日本果汁(現ニッカ)が「林檎汁」の生産を始めた昭和9年頃はりんごの大産地だった。ところがいまは、全国一を誇る青森県のりんご生産量41万トン(2015年)に対し、北海道はわずか50分の1の8,000トン。それでも、「マッサン」人気のお陰で、余市のりんごも「りんごのほっぺ」(JAよいちのりんごジュース)も飛ぶように売れているという。



HSK たんぽぽ(うい) 第30号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻516号
[発行] 2015年3月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3
TEL:011-792-3969 / FAX:011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子